

若者よクワを持ったたらペンも持て！

耕作放棄地削減&食糧自給率向上支援プログラム

# KAI COOON

## 開墾マニュアルブック

### 企画編集者募集！

#### ■企画概要

農商工連携サポートセンターは、連携人材育成計画第一弾として『開墾マニュアルブック』（仮）の企画を進めています。編集企画にあたり広く一般から編集メンバーを募集します。プロ・アマ不問。われこそ開墾編集者、開墾大好き、開墾マニア大歓迎。昼は開墾、夜は魅惑の編集会議に参加できる幸運は誰の手に！

日時：10月31日（土）、11月1日（日）

場所：山梨県北杜市増富地区

定員：5名程度 書類審査にて選定

費用：8000円程度 締切り：10月10日

マニュアル企画制作：NPO法人農商工連携サポートセンター

体験ツアー企画運営：NPO法人えがおつなげて

旅行企画・実施：旅行会社（未定）

#### ■スケジュール

10月31日	11月1日
・ 8:00 新宿駅西口集合	・ 青大豆の収穫
・ 昼頃 みずがきランド到着	・ 編集会議
・ 開墾体験	・ 18:00頃 新宿駅西口解散
・ 夕食・懇談・編集会議	

#### ■開墾マニュアルブック編集企画指針

いまなぜ開墾なのか。開墾はどうやるのか、そのどこがおもしろいのか。開墾は何を与えてくれるのか。知られざる開墾の魅力を解き明かす読む人が元気になって勇気が湧き出す史上初の「開墾マニュアル」。あなた中の耕作放棄地がよみがえる！

#### ■編集ポイント

- 1、正しい開墾マインド 開墾心得 開墾メンヘル効果 大地との関係の持ち方
- 2、正しい開墾知識 歴史、方法 見分け方、楽しみ方、仲間の作り方
- 3、正しい開墾スタイル 服、着用のポイント、プロ仕様、アマ仕様
- 4、正しい開墾グッズ 開墾道具カタログ
- 5、開墾トーク 珠玉の開墾体験トーク&レポ
- 6、開墾マップ ここで出来るよ開墾入門

## ■「開墾マニュアルブック編集委員」の顔ぶれ

大塚洋一郎 NPO農商工連携サポートセンター 代表理事

昭和29年、東京生まれ。北海道大学工学部原子工学科(修士課程)を終了し、昭和54年、科学技術庁に入庁。科学技術庁国際課長、文部科学省海洋開発課長、宇宙開発利用課長などを歴任。平成19年7月より経済産業省大臣官房審議官(地域経済担当)として企業立地、ソーシャルビジネス、農商工連携などの地域活性化施策を担当。農商工連携促進法の制定には当初より参画。農商工連携に関する講演多数。平成21年7月、新しい日本の農業のため農商工連携促進をライフワークとして取り組むことを決意、公務員を退職し、NPO法人農商工連携サポートセンターを設立。開墾にすっかり魅了されている。

山名清隆 日本愛妻家協会 事務局長／ソーシャルコンテンツプロデューサー／NPO農商工連携サポートセンター理事

1960年、静岡県菊川市のお茶と田んぼと畜産の兼業農家の家に生まれる。国際博覧会ディレクター、米国食文化情報誌編集長、テレビ番組キャスターなどを経て、広報企画会社スコップを起業。同時に博報堂と業務提携、公共広報・企業PR領域で独自のプロジェクトを展開。近年は、人の中にある社会的動機を高めて多様で創造的な連携を生み出すSOCIMO(ソーシャルモチベーション)マネジメントを提唱している。日経BP社 市民が選ぶ広報大賞、総務省 地域づくり総務大臣表彰等を受賞。

曾根原久司 NPO 法人えがおつなげて 代表理事／NPO農商工連携サポートセンター 副代表理事／山梨大学客員准教授／関東ツーリズム大学事務局長

長野県出身、東京の大学を卒業後、フリーター、ミュージシャンを経て、経営コンサルタントの道へ。銀行などの経営指導を通して日本の未来に危機を感じ、その救済モデルを創造すべく、東京から山梨の農山村地域へと移住。農業・林業をしながら“村・人・時代づくり”をコンセプトに都市農村交流活動を実施。山梨県北杜市の限界集落増富の耕作放棄地3haを再生。「第一回オーライ！ニッポン大賞ライフスタイル賞」受賞、内閣官房都市再生本部が選定する「地域活性化伝道師」でもある。農商工連携マネジメントコーディネーター育成講座「えがおの学校」なども開催。

大和田順子 LBA(ロハス・ビジネス・アライアンス)共同代表／NPO農商工連携サポートセンター理事

東急総合研究所、ザ・ボディショップ、イースクエアなどを経て、2006年4月に独立。2002年日本に初めてLOHAS(ロハス)を紹介。人、地域、社会の健康を志向する新しい価値観LOHASを、ビジネス、地域活性化に活用し、持続可能な社会の実現に情熱を傾けている。目下は、ローカーボンライフと並び、都市生活者による耕作放棄地の開墾に大きな関心を寄せている。環境省等各種委員を務める。近著『ロハスビジネス』(朝日新書)。「eco japan cup 2007」において環境ビジネスウィメン賞受賞。立教大学セカンドステージ大学兼任講師。